

H26年度 武蔵野会法人研修計画

区分A	研修名称	開催日時	研修内容	テーマ 方法	対象	担当	会場
理念経営	理念A	通年・地区	理念の「語り」	他施設での「語り」	施設長・管理職	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	理念B	通年・地区	理念の語り	MY支援介護BOOK作成と理念の「語り」	主任係長	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	理念C	通年・地区	行動規範一部言語化	行動規範一部(事例作成)	リーダー	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	理念D	通年 研修ノート提出	理念の理解の言語化	理念を自分に引き寄せる	新規採用者	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
人権擁護	倫理綱領と行動規範	通年・地区 最低1回	倫理綱領と行動規範の定着化		一般職員	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設
	虐待防止研修	1月27日	虐待防止について	虐待防止ガイドラインなどを活用して	全職層・職種	東地区	千代田障害者センター
	虐待防止フォローアップ	6月23日	虐待防止について	フォローアップ	全職層・職種	東地区	練馬
	武蔵野会セミナー	11月15日	人権擁護	障害者権利条約について	全職層・職種	練馬	星陵会館
	HIV啓発研修	随時	HIV感染症マニュアル	HIVの福祉問題	全職層・職種	本部	各地区・施設
	成年後見制度	随時	成年後見制度の理解	成年後見リーフレット	全職層・職種	社団法人「みんなの力」	各地区・施設
	定着支援	於主任・係長・課長研修	知的障害者の触法問題	触法障害者問題・定着支援課題	役職以上	本部	本部
経営課題研修	生活困窮者問題	於主任～施設長研修	生活困窮者自立支援法について	生活困窮者問題	役職以上	本部	本部
	リーダークラス&OJT A	12月18日 施設長研修時	施設長のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	施設長	合同会社 ユナイテッド	本部
マネジメント研修	リーダークラス&OJT B	12月上旬	課長のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	課長	合同会社 ユナイテッド	各地区・施設
	リーダークラス&OJT C	1月	係長のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	係長	合同会社 ユナイテッド	各地区・施設
	リーダークラス&OJT D	1-2月 3回に分けて	主任のセルフマネジメント	新多面評価と組織診断	主任	合同会社 ユナイテッド	各地区・施設
	トータル人事制度	人事制度説明会	4-5月 1日 人事制度説明	人事制度の手引き	人事制度と目標管理	新規・中途採用者	地区長・施設長・研修担当
階層別研修	新任主任	4月15日 1回 計30h 講義 & 通信課題	主任の心構えと役割 PDCA管理とリーダーシップ	「マネジメントの基本」 産能大経営センター通信教材 「非営利組織の経営」 P・F・ドラッカー レポート	新任主任	運営委員	本部
	新任係長	4月21日 1回 計15h 講義 & 通信課題	係長の心構えと役割 部下指導と育成	指導監督業務とリーダーシップ 「多面評価からの課題形成と改善」	新任係長	運営委員	本部
	新任課長	4月25日 1回 講義	課長の心構えと役割 組織マネジメント	ミドルマネジメントとサービス管理 「多面評価からの課題形成と改善」	新任課長	理事長・本部長・中島・山内・本部スタッフ	本部
	新任施設長	4月28日 1回 講義	施設長の心構えと役割 施設経営の基本	ミッションマネジメントと施設経営管理 「多面評価からの課題形成と改善」 全社協通信教材 「新任施設長講座」	新任施設長	理事長・本部長・中島・山内・本部スタッフ	本部
	施設長	4月16日 6月18日 8月20日 10月15日 12月17日 2月18日	福祉経営マネジメント	法人理念 福祉動向 経営マネジメント リスク管理など	施設長	本部	本部
	課長	12月上旬	定着支援と生活困窮者	新多面評価と組織診断	課長	合同会社 ユナイテッド	本部
	係長	1月	定着支援と生活困窮者	新多面評価と組織診断	係長	合同会社 ユナイテッド	本部
	主任	1月-2月 2回開催	定着支援と生活困窮者	新多面評価と組織診断	主任	合同会社 ユナイテッド	本部
	リーダー	通年 通信課題	「非営利組織の経営」 P・F・ドラッカー レポート 「経験の棚卸し」と伝達	「リーダー」のリーダーシップと役割	リーダー	地区長・施設長	各地区・施設
	一般職員研修A	毎月1-2回/年	ダイアログ研修	武蔵野会の理念経営について	5年未満	本部	本部
	一般職員研修B		ダイアログ研修	武蔵野会の理念経営について	6-9年	本部	本部
	一般職員研修C		ダイアログ研修	武蔵野会の理念経営について	10-19年	本部	本部
	一般職員研修D		ダイアログ研修	武蔵野会の理念経営について	20年以上	本部	本部
	新任フォローアップ	期首(なし) 期中(9-11) 期末(3月)	振り返り	実践の振り返り 目標の設定	新任職員	HOST地区 地区長 各施設	HOST地区 各施設
新任大島宿泊研修	3月25-27日	組織理解 支援者の姿勢・態度	ガイダンス 理念 マナー等	新規採用職員	大島地区	大島	
新任研修(中途採用)	6月12日	支援者の姿勢・態度 ふりかえり	ガイダンス 理念 マナー等	新規採用職員 中途6カ月以上	葛飾地区	千代田障害者センター	
トレーナー養成	トレーナー養成研修	通年	法人の基本業務のスキル 知識の標準化トレーナー養成	法人研修のトレーナーとして活動する者	トレーナー	地区長・施設長	各地区・施設
BCPマネジメント研修	BCPマネジメント研修	11月25日	大規模災害対策とBCP策定	BCPと安否確認システムの構築	BCP推進担当者	八王子・御殿場地区	千代田障害者センター
サービス管理	接遇マナーA	通年・地区 最低1回	接遇マナー	組織人・支援者としてのエチケット・マナー	中途 新任	地区長・施設長	各地区・施設
	接遇マナーB	通年・地区 最低1回	接遇マナー 事例検討	ロールプレイによる接遇マナー向上運動	全職層・職種	地区長・施設長	各地区・施設
	接遇マナーC	7月29日	接遇マナー向上運動推進 接遇マナーリーダー養成	地区長推薦 (リーダー以上)	施設長推薦 接遇担当	葛飾地区	千代田障害者センター
	リスクマネジメントA	通年・地区 最低1回	武蔵野会のリスクマネジメント	安全とリスクマネジメントシステム	新人・一般職員	地区長・施設長	各地区・施設
	リスクマネジメントB	通年・地区 最低1回	AKTとリスク感性	リスク感性と報告書	一般職員	地区長・施設長	各地区・施設
	リスクマネジメントC	通年・地区 最低1回	事故分析手法	事故分析と改善手法 SHEL	一般職員	地区長・施設長	各地区・施設
	リスクマネジメントD	6月7日	クレーム対応	クレーム対応	施設長推薦	烏山福祉作業所	各地区・施設
	リスクマネジメントE	10月4日	RMer養成	RM体制の構築 安全文化の醸成	施設長推薦	烏山福祉作業所	各地区・施設
	就労支援サービス管理	通年・地区 最低1回	自主生産品におけるコンプライアンス	品質管理 商品成分表示 関連法規	一般職員	就労支援部会	各地区・施設
	財務・会計	財務(通信)	7月	施設経営分析	施設経営分析	施設長	本部
財務(通信)		7月	経営指標による分析	労働分配率等の指標による改善	課長・係長	本部	本部・地区
財務(通信)		7月	財務知識 分析等	財務の基礎知識	主任	本部	本部・地区
栄養士・看護師	栄養士	10月31日	栄養士	嚥下困難者の食事指導など	栄養士	葛飾地区	千代田障害者センター
	看護師	10月28日	施設看護師	外部講師による看護研修	看護師	練馬地区	千代田障害者センター
	事務員研修会	10月20日	事務員	新会計基準他 事務管理関係	事務員	本部	千代田障害者センター
メンタルヘルス	ストレスマネジメント	12月1日	援助職のストレスマネジメント	「マインドフルネス」	全職層・職種	外部機関	本部
	セクハラ・パワハラ研修	通年・各施設 最低1回	セクハラ防止	セクハラ・パワハラ等の防止	施設長	本部	本部
業務評価スキル研修	施設経営・サービス分析	通年	業務評価・分析	第三者視点による経営・サービス分析スキル	施設長	福祉第三者評価機構	本部
調査・研究	基本テキスト作成	通年 分担執筆	テキスト作成	基本テキスト作成 1テーマ分筆担当	主任以上	葛飾地区	葛飾
	クレーム対応事例集作成	通年	事例集作成	クレーム対応の事例集の作成		世田谷地区	
	支援実践報告	随時 年1回	支援実践報告	各現場での取り組みを報告		各地区	各地区・施設
	支援実践集	3月提出	支援実践集	各現場での実践報告を冊子にまとめる。		本部	葛飾

平成26年度の法人研修について

- ・研修センターの運営並びに研修企画については研修部会を通じて、各研修の実務と法人の継続的研修のあり方について部会で検討します。
- ・今年度は、マネジメント領域では多面評価研修の拡張、BCPは安否確認システムと事業継続研修、経営課題研修として触法問題・貧困者支援、ダイアログ研修は、2員が対象です。
- ・施設長研修は施設長会議と同日に年6回行います。4月生活困窮者自立支援法、6月ハラスメント防止 8月リスクマネジメント(安否確認システム)、10月経営マネジメント研修、2月経営マネジメント②などを行う予定です。
- ・新規には、「ストレスマネジメント」では「マインドフルネス」、「生活困窮者自立支援法」または、就労支援部会のテキスト研修「自主生産品におけるコンプライアンス」が、
- ・また、階層別研修では、リーダー研修に「非営利組織の経営」レポートと「経験の棚卸し」が入ります。
- ・専門研修は、各施設の種別が多岐にわたるため法人としては設定しません。各施設で必要に応じて行ってください。
- ・法人研修の目的は、基本理念、福祉の価値・態度やリスクマネジメント、マナー、サービス管理、財務などの福祉経営に関わる内容、その他、組織人、職業人としての関する理解と習熟を目標とします。
- ・ダイアログ研修を全階層で行いますが、3か年に1回程度と考えています。
- ・本年度は、「社会福祉法人の人材育成」について天童厚生会(静岡)、聖徳会(大阪)、昭徳会(愛知)と武蔵野会がメンバーとなって日本福祉大学のスーパービジョンセンターを行うこととなります。研修センターも様々な形で連動していきます。

2014.3.20.

平成26年度までに完成 支援介護BOOK
新任研修シート
倫理綱領等 プロジェクト
プロジェクト
プロジェクト
リーフレット
多面評価シート
多面評価シート
多面評価シート
多面評価シート
手引き
産能大経営センター 通信教材
「非営利組織の経営」
全社協通信教材
「非営利組織の経営」
研修シート
研修シート
大島地区
葛飾地区
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト
基本テキスト

5年目の一般職
ント①、12月多面
入ります。

基礎知識・技能に
ターとの共同研究